

生活創造しんぶん第16号

平成17年3月

編集・発行

県立姫路生活科学センター内
生活創造応援隊

「こいのぼり」 もう一度大空に！



神崎町の笠形山の麓にある神崎いこいの村「グリーンエコー笠形」では今年も新学期に合わせ、4月1日から6月の初旬まで子ども達の健やかな成長を祈り「こいのぼりの大空遊泳」を行います。

山から山へ、200mのワイヤーを谷渡しに4本張り、約500匹が風に泳ぎ、そしてポール、沿道にと施設内全体で約1000匹を泳がせています。

「こいのぼり」の由来は多々あり、中国に古くから伝わる登龍門の伝説になぞらえ、龍門の滝を登り切ると鯉が龍になるように、我が子も健康に育ち、将来は大きく出世してほしいとの気持ちを込めたものだとも云われています。「我が家に男の子が生まれました。どうぞお守りください。」と天の神様に伝え、守っていただく意味合いもあったと伝えられています。

しかしながら、我が子の誕生を喜び、敷地内で掲げ祝った「こいのぼり」も子ども達の健やかな成長と共に出番も少なくなり、部屋や物置の隅に片付けられていることも……。

そこで「グリーンエコー笠形」ではもう一度その雄姿を輝かせてあげたいと数年前より計画し、町内はもとより近畿地方を中心に東は関東、西は中国地方から多くの寄贈を受け、神崎町の緑豊かな自然をバックに満開の桜と競うように大空に向けて谷間に色鮮やかな風景を展開しております。**お宅のこいのぼりを大空に泳がせてみませんか？**

そして、どうか神崎町の壮大な風景を見にお越し下さい。(応援隊 竹國 とみ子)

「こいのぼりの大空遊泳」のお問合せ先／「こいのぼり」の送り先

神崎郡神崎町根宇野1019-13

グリーンエコー笠形

2004 西播磨省資源推進運動大会

「2004 西播磨省資源運動推進大会」が『環境問題と消費者の役割』をテーマに2月8日大阪ガス(株)ふれあいプラザで160人が参加して開催された。メインは『地球温暖化防止と消費者の役割』をテーマに京都弁護士会の浅岡美恵氏の講演。

「地球温暖化防止と消費者の役割」

昨夏の猛暑、記録的な台風襲来、海外での洪水やハリケーンの頻発などの世界的な異常気象は地球温暖化とも関係している。1997年に京都で開催の環境問題世界会議で温暖化の主因とされる炭酸ガスの排出を全体で5.2%削減と決定し、各国ごとに具体的な数字で取り組むことを約束、今年2月16日に発効となった(京都議定書)。日本は1990年を基準として2008年から2012年までに6%の削減の約束だが、この7年間で逆に8%の増加なので、あわせて14%の削減を達成しなければならない。



南極や北極の気温が上がりアザラシの生息に異変が起きているなど様々な事例報告があるが、今のままの状態があと100年も続くと地球全体で2℃の気温上昇となり、生態系が崩れ、人間の生息できる場所がなくなるなどの深刻な問題も提起されている。そんなに遠くない子や孫の時代の環境が危ぶまれている。日本の一人当たり排出量はアメリカ、オーストラリアに次いで世界で3番目。世界平均の約3倍も排出している。

環境への負荷の少ない商品を選び、環境にやさしい使い方をするほか、自然エネルギーをつくるなど環境にやさしいライフスタイルに早急に変える必要がある。

各家庭では、単なる節約だけの「ケチケチ作戦」ではなく、環境への貢献活動としての認識と具体的な実践活動が求められる。

①買い替えのとき、効率の良い商品を選択

- ・商品価格は少し高くても消費エネルギーの少ないものを選ぶ

②環境にやさしい使い方

- ・できるだけ歩行や自転車で行動し、公共交通機関を利用する
- ・待機電力、冷暖房温度に注意し資源の無駄づかいをしない

③自然エネルギーをつくる

- ・太陽光発電や風力発電などの利用で自然エネルギーをつくる

など、生活の質を落として我慢するのでなく、良質の快適さを保ちながら環境に配慮した積極的な工夫をすること。消費者が買えば企業はおのずとその商品をつくる。行政も支援してくれる。消費者がどう行動するかでこれからが決まる。

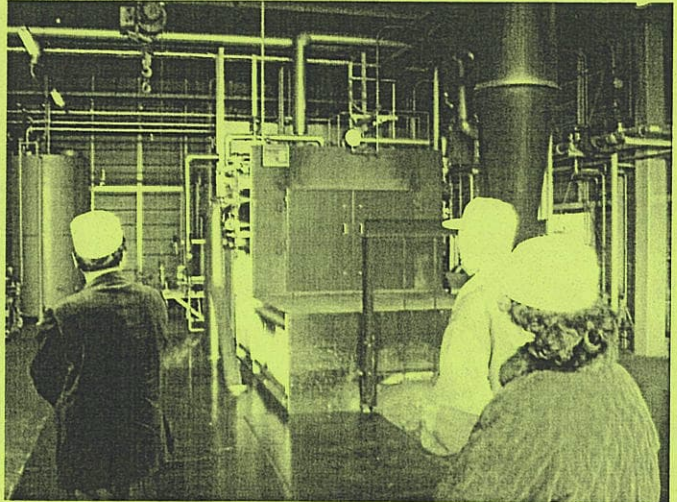
具体的なデータを示しながら地球温暖化の現状と課題、これからの消費者行動のあり方をわかりやすく説明され、みんなが環境問題の現状をもっとよく知り、環境にやさしい「グリーン・コンシューマ」になることが急務であることを強調されました。

「リサイクル施設見学会」に参加して

(財)ひょうご環境創造協会が主催の施設見学会で「サーマルリサイクル」を行っているミサワホーム岡山工場とクラレ倉敷事業所を訪問しました。

「サーマルリサイクル」とは、廃棄物を単に焼却処理するだけでなく、焼却の際に発生するエネルギーを回収、利用することです。

ミサワホームでは、住宅生産工程で発生する木屑・木粉を全量自動回収、木材廃棄物を一切排出しないでボイラー燃料とする「バイオマス廃棄物熱利用(空調システム)」と「太陽光発電システム」を導入し、年間、重油換算で 114.6kl、温暖化ガスの二酸化炭素(CO₂)を 343 トン削減しています。



また、クラレでは、当初は「石炭専焼」であった循環流動層ボイラーを「石炭(60%)とバイオマス(建築解体木屑チップ)、廃プラスチック(RPF)の混焼」とし、これにより木屑チップを年間 1.6 万トン焼却し、二酸化炭素(CO₂)を 2.2 万トン削減することになり、石炭使用を 1 万トン減らせるそうです。

なお、廃プラスチックはボイラーの損傷、ダイオキシン問題もあり塩化ビニールは除外するなど受け入れ基準を決めているとのことです。



以上、いずれの事業所も環境問題に対する意識向上を図り、省エネ、省資源に取り組まれている状況が伺え、私たち家庭においても省エネや省資源のためのゴミ分別収集など小さなことからでも実践することの大切さを再認識させる見学会でありました。

*バイオマスとは、木材、稲わら等「石炭・石油等の化石資源以外の生物から生まれた有機性資源」を云います。木材は、大気中の CO₂ を吸収して成長するので、燃焼したとき発生する CO₂ は地球温暖化ガスの増加には含めないことになっています。

(応援隊 溝口章宏)

「環境ミニフォーラム in ひめじ」開催のお知らせ

地球温暖化問題に関する講演と意見交換会が下記のとおり開催されます。皆さんのご参加をお待ちしています。

日 時	3月15日(火)18:30~20:00
場 所	姫路商工会議所5F 503会議室
テ ー マ	「近畿2府4県の CO ₂ 排出量と地域での対策」
講 師	県立大学環境人間学部助教授 山村 充氏
主 催	(財)ひょうご環境創造協会

お問い合わせ・申し込み先

姫路市下寺町43 姫路商工会議所 商工振興グループ

大河内町省資源大会 一地域創造市民塾一

2月6日(日)に大河内町中央公民館グリンデルホールにおいて、大河内消費者協会の主催で省資源大会が行われました。

まず始めに「いっしょにはじめよう地球にやさしいこと」「京都議定書」が発行、これからの日本は、大河内町は?を演題に、兵庫県立大学非常勤講師の横山孝雄先生の講演を聞き、次に消費者協会理事による「おれおれ詐欺に遭わないために」と題した寸劇、リサイクル品の展示等も行われました。

横山先生のお話では温室効果ガス排出削減の数値目標を盛り込んだ「京都議定書」が採択され、2月16日に発効されるにあたり、これから地域における地球温暖化を防止するために大切なことを教えていただきました。

基本的には、① CO₂の排出量を減らすことと、② CO₂の吸収量(源)をふやす。省エネルギー、省資源、省電力といったエネルギー消費に関して無駄を省くことは家庭でも多数の方が実践しておられます。電力の需給方法で太陽光発電や風力発電といった自然エネルギーの利用による、CO₂の排出量の削減も普及してきました。CO₂の吸収量(源)をふやすには?…木を伐った山には植林をしてCO₂をたくさん吸収する森づくりをします。バイオマスからは電気はもちろん、車やガス等の燃料にも使うことができるエネルギーが得られ、また生分解性プラスチックとして工業原料にもなります。稲わら・ぬか・スギ・樹皮・さとうきび・雑草などのバイオマスでガスやメタノールなどの燃料などをつくる研究も急速に進んでいるとのことです。

幸いなことに我が町大河内は山林や高原、農地に囲まれた天然資源の豊かなところ。町域の90%が山林なので、CO₂の吸収量(源)は十分ですし、山から多量にでる間伐材を活かして、バイオ燃料を得ることも可能だそうです。

大河内に住む地の利を活かし、子どもや孫達にいい環境を残してあげたいと切に思いました。

(応援隊 田中 路子)

淡路農林水産技術センター見学によせて

今年度は食の安全・安心をテーマに学習を重ねてきましたが、その一環として淡路の農林水産技術センターを見学してきました。センター内では淡路の地域特性を活かした園芸作物を栽培し、技術開発、実証試験を行っておられます。特産露地野菜のたまねぎ、レタス、はくさい、切り花ではカーネーション、ストック等を栽培、廃タイヤを利用したかんきつ類の水管理技術も説明していただきました。畜産部では乳用牛の改良や効率的な飼育管理技術の開発が行われているそうです。

農産物づくりに農薬は使わないのが最良ですが、早い時期に適切な量を効率的に使用するのがポイント! 私たちがせっかく

手塩にかけた野菜も畑の土や水の状態が悪く、「知らない間に蝕まれていたり枯れてしまうこともあって…」の質問には、「軟弱野菜でも種類によって病虫害被害は違いますので、白菜は白菜用、ホウレンソウはホウレンソウ用などと、それぞれの野菜にあった最適な農薬を使用表示のラベルをよく確認して使ってください。」とお話をうかがいました。これからは我が家の自家菜園も上手く収穫の日が迎えられることでしょうね。

(応援隊 安達 加世子)

姫路の街を自転車でGO！

どこかに出掛けたくなくなった時に自転車で小旅行はいかがでしょう？

姫路市では、観光レンタサイクルとして、よく整備された自転車が無料で貸し出されています。

姫路城の周辺には風を切って走っていると楽しい場所がたくさんありますよ。姫山公園、市立美術館、城郭研究センター、県立歴史博物館あたりとか……整備されつつある大手門前周辺も家老屋敷跡公園には、姫路の土産にちょっとのぞいてみたいお店も次々オープンしています。東行き2号線沿いを西に走ってみてください。船場地域辺りにある町家を改装したすてきなお店をのぞいてみるのも私のお奨めです。

お城の北東には野里銀座……昔ながらのお店が並びます。

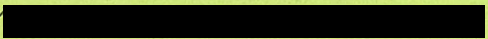
お城の西のお堀沿い、小姓町から材木町辺りには古民家を再生された町家……

自転車で軽やかに走ることは、ウォーキングや水泳などと同様に、有酸素運動になります。健康にも良いし、排気ガスも無く環境にもやさしいし、車に乗って混んだ道や駐車場を求める長い列に加わずにすむから気分イイですよ(^o^) 天気予報を調べて、さあ 出発しましょう！！！！(^o^)

(応援隊 岡本 奈津子)



レンタサイクルの利用申込みの受付場所は、JR姫路駅中央改札口横の駅前観光案内所と、姫路観光ナビポートで行い、**貸出及び返却場所**は、駅東立体駐輪場、駅西地下駐輪場、大手前駐輪場、姫路観光ナビポートになっています。

お問合せ先／ 受付時間／9:00~16:00(返却は18:00まで)

わたしのお奨めコース



《 第一回船場御坊祭の様子 》



船場本徳寺にて第二回船場御坊祭が4月10日(日)に開催されます。昨年11月の第一回は地元商店の出店のほか、地元のグループのお店、自然派食品のお店、手作りの作品をならべたお店など、多数参加されていて楽しかったですよ。どうぞお立寄り下さい。船場から一足伸ばして……名古屋山霊園の桜の季節はきれいですよ！少しずつ時期をずらして咲くように桜の種類も変えてあり、長く楽しめますね～。

千姫の小径や船場川辺りで、お堀の鳥の観察・バードウォッチングを楽しめます。4月になると、清水橋あたり(2号線より北)の船場川に、鴨の親子を何組も見られます。早い遅いもありますが、成長を見るのは楽しいし、餌やりの様子は何回見ても笑えます。ちびっこのひなが、川の段差を上る時には毎回手に汗握ります！ドラマですよ～(T_T)感動ものなんです！

(応援隊 三木 尚美)

たのしいよ～おはなし会！ 絵本大好き！

2歳から10歳までくらいの子供達が10人程、思い思いの格好でお気に入りの場所に座り、二人の女性の様子を見ながら「まだあ～」と待っています。母親らしき人達も2～3人、後方におられます。

やがて一人の女性が「きょうは、どんなお話かな？」と絵本を開きます。やさしく、はっきりとした声が流れ、ゆったりとした時間が過ぎていきます。

「はい！おしまい！」次は・・・ おや？「ろうそく」が灯されました。何回もこの会が行われたしるしに、小さくなっています。もう一人の女性がろうそくの前に静かに座られました。子供達を見守りながら、まるで自作の話をされるごとく、語られます。じっと聞き入る子、歩き回る子、隣の子と戯れる子も・・・しかし、

読み手は気にせず進めます。お話が終わると、この「ろうそく」の灯を消すのは誕生日に近い子どもの役目とか、「ろうそく」は子供達が「現実の世界からおはなしの世界への道しるべ」とか・・・。お話の世界へ誘うための工夫のようです。

おはなし会は、福崎町文化センター和室で、毎月第3土曜日の11時から行われています。

約7年前、あるお母さんから「子どもにお話を聞かせてやりたい」の、ひと言で始まりました。その後、福崎町立図書館の建設が決まり、準備室ができて、メンバーの募集や勉強会も開かれ月一回の例会となりました。

おはなし会の代表者、奥田さんは「多くの方の協力と仲間のおかげで活動を続けてこられた事に感謝です。子供達と接する事でエネルギーをもらえ、楽しませてもらっていますし、図書館の協力のおかげでとてもよい環境だからわたし達の力が充分発揮できるのです。」と話して下さいました。

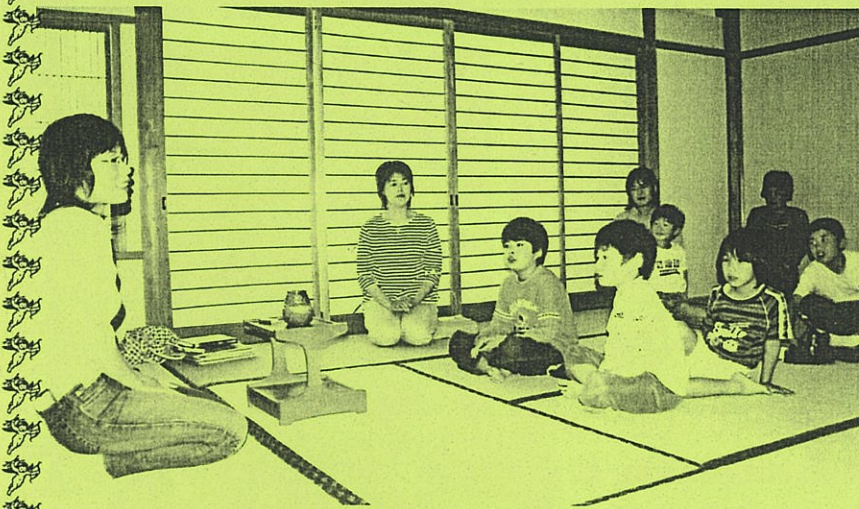
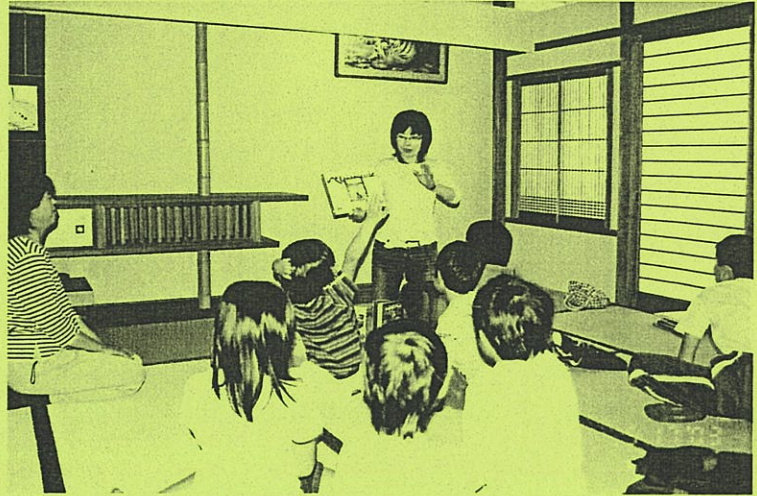
先日、JPIC 読書アドバイザーの武内富紀子さんのお話を聞く機会がありましたが、「幼児と親への絵本の読み聞かせはとても大切です。」と教えて頂きました。また、「耳でたくさんの言葉を聞きためる事の大事さ」を説かれています。幼児は物語を本当の事として受け入れ、自分自身が主人公になりきれるのです。そうする事で満足感が味わえ現実の奥にある真実を感じるというのです。

奥田さんも「お話の主人公と一体になってワクワクし、困難を乗り越えて幸せをつかむような体験を楽しんでほしい。昔話やお話をたっぷりと楽しんだ子供達は大人になっていく時に、目に見えない大切なものを信じて前向きに取り組んでいけるのではないのでしょうか」と話しておられます。

今年の7月に新図書館がオープンします。おはなし会の活動もより充実したものとなる事でしょう。

最後に“絵本のようにしなさい！”と驕しつけの道具にはしないで、楽しくふれあわせてあげて下さいね”

(応援隊 小國 冷子)



家族そろってそば打ち体験

夢前町明神山の裾野に広がる豊かな緑、清らかな水、美しい自然に恵まれた**夢さき夢の里農業公園「夢やかた」**は、季節ごとの自然とのふれあいや様々な楽しみ方があります。体験農園やバーベキュー広場、お洒落なログ調のコテージ村も整備されています。

レストラン「夢やかた」では四季の味が楽しめ、地どり料理、ぼたん鍋、かも鍋なども好評です。また町内で収穫された**夢そば100%**のそば粉を使ったそば打ち体験が出来ます。(1人前1050円)
予約は10時～3時の間にて所用時間は約1～2時間、自分で打ってその場でざるそばで食べられます。少し北へ行けば、岩屋池、観音滝、明神山へと続きます。老木杉に囲まれた神元神社など見どころいっぱいです。おもいきり自然を満喫してください。(応援隊 高坂 二郎)

そば打ち体験 予約／お問合せ先

夢さき夢の里農業公園 夢やかた

(定休日／月曜・祝日の場合は火曜日)

「春のふるさと里山体験イベント」情報

自然に恵まれ、昔からの生活文化が残る『夢前町 夢のさと農業公園』において『生活の知恵』や『ふれあい』を体験する様々なイベントを企画しています。多数ご参加下さい。

日 時： 3月26日(土)10時～15時 小雨決行

☆ 里山ウォーキング

☆ 竹炭体験

☆ 竹とんぼづくり

☆ 農作業体験(じゃがいも植え)・・・etc

「春のふるさと里山体験イベント」のお申し込み期限は3月18日(金)まで
内容により参加人数に限りがあります。

《お申し込みお問合せ先》

兵庫県土地改良会館 ふるさとむら支援センター

主催 ふるさとむら実行委員会

大福を作ってみませんか？ 10分あればOKです！

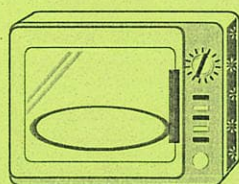
ご家庭の電子レンジを使って簡単にイチゴ大福や栗入り大福が作れますよ。

材料 (8個分)

白玉粉	100g
砂糖	80g
水	200cc

お好みで

小豆餡・いちご・栗の甘露煮を用意



各家庭の電子レンジ
の出力によって時間
を調整下さいネ！

作り方

- ①耐熱容器に白玉粉・砂糖・水を入れてよくかき混ぜる。
- ②ラップをして電子レンジ(600w)に入れて3分間かける。
- ③取り出してよく混ぜ、再度電子レンジに入れて2分間かけ、全体に透明感が出て粘りが出てきたらOKです。
- ④片栗粉を敷いた所にひろげ、のばして8等分に分ける。
- ⑤小豆餡を包んで出来上がり、いちごを入れたら、いちご大福です。栗を刻んで皮に混ぜても美味しいですよ！
出来上がりをラップで包む時は冷めてから包んで下さい。

(応援隊 小林 美波子)

☆ 県立姫路生活科学センターからのお知らせ ☆

～平成17年度～☆ 生活創造応援隊を募集します ☆

「生活創造情報プラザ」では中播磨の各地で活動されているグループや各地のイベントなどの情報を収集し、「生活創造しんぶん」で情報発信しています。この情報紙の記事の作成などに携わり、生活創造活動の支援をしていただく「生活創造応援隊」を募集します。

いきいきとした中播磨の情報を発信していきませんか！

主な活動内容 ☆地域情報の収集、「生活創造しんぶん」の作成、発行、配布

☆生活創造プラザ事業の運営に関する補助 など

お問い合わせ先 「生活創造情報プラザ」 (玉田)

セミナーのご案内

平成17年3月10日(木)13:30～15:30

テーマ 一健康食品を学ぶ一成分とその効果について

講師 武庫川女子大学助教授 松浦 寿喜

—お申込み先—

県立姫路生活科学センター 清水

ふるさとひょうご創生塾 第10期生 募集

* 県では、地域づくり活動の第一線で活躍しているリーダーが地域における課題の解決能力等を高める場として「ふるさとひょうご創生塾」を開設しています。

* まちづくりや環境保全、非営利組織(NPO)・ボランティアなど、各種の地域活動実践者及び実践を志す者で、地域づくりのための高い知識を学び、地域づくりのリーダーとして活動することができる方(兵庫県内に在住、または在勤・在学する青壮年者)を対象とします。

* 募集人員 30名程度(書類選考)

* 学習期間 平成17年5月から平成19年3月までの2年間

* 申込締切 平成17年3月31日(木)

学習内容と申込み方法のお問合せ先

兵庫県 県民政策部 県民文化局 生活創造課

生涯学習事業係

☆ 生活科学センターをご利用いただける時間 ☆

利 用 時 間	消費生活のご相談	9:00～12:00 13:00～16:00
	食の安全・安心のご相談	9:00～12:00 13:00～17:15
休 館 日	土曜・日曜・祝祭日・年末年始	

中播磨地域でがんばっているグループ
がんばっている人・いい話を

生活創造しんぶんの紙面でご紹介します。自薦他薦は問いません。

4月10日までに原稿を郵便・FAX・Eメールでお寄せください。

しんぶんについてのお便り・お問い合わせ
姫路市新在家本町1丁目1番22号
県立姫路生活科学センター 玉田

* 生活創造しんぶん15号で募集しました愛称につきましては、次号より変更になります。お楽しみに！